東京都がん対策推進協議会

第2回がんとの共生部会

会議録

令和6年12月16日

東京都保健医療局

(午後 6時00分 開会)

○田村医療連携・歯科担当課長 では、お待たせいたしました。ただいまより、東京都がん対策推進協議会「第2回がんと共生部会」を開会いたします。

私は、医療政策部医療連携・歯科担当課長の田村でございます。本日は、どうぞよろしくお願いたします。

初めに、本日のWEB会議に当たりまして、委員の皆様には2点お願いがございます。1点目は、議事録作成のため、必ずご所属とお名前をおっしゃってからご発言いただきますようお願いいたします。

2点目は、ご発言いただくとき以外はマイクをミュートにさせていただきますようお願いいたします。

なお、本日の会議は、後日、資料及び議事録を公開させていただく予定でありますので、よろしくお願いたします。

次に、本日の会議資料でございますが、委員の皆様には事前にデータにてお送りいただいております。次第に記載のとおり、資料1から資料4までと、参考資料1から3までとなります。

続きまして、本日ご出席の委員のご紹介ですが、本来はご出席の皆様全員のご紹介をさせていただきたいところですが、時間も限られてございますので、資料の2-2のご紹介に代えさせていただきたいと思っております。

なお、秋山委員、矢内委員よりご欠席のご連絡、また、内田委員と鳥居委員より、途中からの出席というふうにご連絡をいただいております。ぜひ皆様より忌憚のないご意見を賜りたく、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

それでは、これ以降の進行につきましては、高山部会長にお願いたしたいと思っております。よろしくお願いたします。

○高山部会長 皆様こんばんは、高山です。引き続き、進行を務めさせていただきます。よろしくお願いたします。

では、早速、議事(1)「東京都がんポータルサイト」のリニューアルについて、事務局から説明をまずお願いたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 では、事務局よりご説明いたします。

会議資料3、スライド2ページ目をご覧ください。

前回の部会では、主にデザインやレイアウト、検索機能・編集権限などの機能面を中心に検討を進めてまいりましたが、今回はその内容に加えまして、赤字で記載してございます「がんと共生分野全般に係るコンテンツの整理」、また「サイトの認知度向上のための広報」につきまして検討を行っていただきたいと思います。

また、スケジュールにつきましては、前回の部会でお示した内容を更新しまして、広報資材制作及びユーザーテストの時期を追加してございます。全体的にスケジュールが後ろ倒しになってございまして、新サイトの公開予定日を2月末頃にさせていただいて

ございます。

なお、ユーザーテストにつきましては、第1回ユーザーテストでは対象者を限定してございましたが、第2回は、本部会の委員の皆様全員にご確認いただきたいと考えてございます。

実施時期は、令和7年2月の前半を予定してございますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、スライド3ページをご覧ください。

前回の部会でお示ししましたリニューアルの方向性につきまして、再度掲載してございます。ご説明の流れですけれども、前半は各部会・WGでのご意見及び第1回ユーザーテストの結果を踏まえまして、リニューアルの進め方の再整理を行ってまいります。その後、がんとの共生分野全般に係る掲載内容の整理、普及啓発の取組の順で、セクションごとに質疑応答を挟みながらご説明させていただきます。

これより先の詳細な説明につきましては、担当者より説明させていただきます。

○事務局（貴島） 日頃よりがんとの共生部会の運営につきましてご協力賜りまして、ありがとうございます。医療政策部医療政策課がん対策担当の貴島と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、資料の4ページをご覧ください。

「東京都がんポータルサイト」リニューアルに関するご意見について、ご説明いたします。

本資料で掲載されている内容は、参考資料2及び参考資料3にて掲載しております各部会・ワーキングでのご意見と、ユーザーテスト結果の中から主な意見を抜粋した内容となっております。

説明の流れですが、初めに、ユーザーテスト結果から全体の傾向についてご説明し、その後、具体的なお意見についてご説明させていただければと思います。

それでは、参考資料3、スライド1ページ目をご覧ください。

第1回ユーザーテストは11月20日から1週間実施し、回答率は59.1%となります。なお、部会資料から割愛させていただいておりますが、本ユーザーテストでは、11月中頃に皆様宛てに、会議録案と一緒に送っております、四葉のクローバーをメインビジュアルとした修正後素案トップページをデモ画面にてご確認いただきました。

設問ごとの回答状況は、以下のとおりとなります。

一つ目の設問、デザインの印象や見やすさについては、「よい」・「普通」が同割合、「悪い」については、ほかの項目と比べて比としては、やや低い結果となりました。

続きまして、「『がんを知る等』のメニュー項目につきまして、「リンク先のページが想像できないものや、分かりにくい表現があるか」の質問では、7割強の方が「ある」と回答しております。

続きまして、「病院検索の検索条件について、分かりにくい選択項目や追加したい条

件があるか」の質問では、おおよそ7割の方が「ある」と回答しております。

一方で、「『病院検索の結果画面一覧』や『病院詳細画面』について、見やすく整理されていきましたか」の質問では、それぞれ6割強、7割強の方が見やすかったと回答しております。

以上の結果から、「メニュー項目」、「病院検索」につきましては、依然として課題と感じている割合が多く、特に改善していかなければならない項目だと考えられます。また、「見やすかった」と評価が多かった項目につきましても、後ほどご説明する自由意見にて、様々なご意見をいただいておりますので、いただいたご意見を踏まえまして、さらに改善していきたいと考えております。

それでは、資料3、スライド4ページ目にお戻りください。

本来、一つ一つのご意見につきましてご説明をさしあげたいところですが、時間が限られておりますので、特に多くの方からご意見をいただいている太字・下線箇所を中心にご説明させていただきます。

初めに、「1.構成・デザイン等に関すること」です。

「①構成に関すること」について、全体を通じて最も多かった意見としまして、見やすさ・分かりやすさ・たどりつきやすさを重視したサイト設計をしてほしいという意見がございました。

また、前回の部会の中でもご意見をいただいた内容としまして、掲載情報を充実させていくことも大事だが、情報へのたどり着きやすさやページの管理しやすさ等の視点も大切というご意見がございました。

また、文字の配置位置をそろえるなどシンプルな構成がよいというご意見、スマートフォンから見た際のスクロール数が少なくなるような構成がよいというご意見、患者目線で分かりやすいタイトルや構成にしてほしいというご意見がございました。

さらに、具体的な意見としまして、病院検索がトップページ上部にあると病院検索サイトに見えてしまう。初めてポータルサイトを訪れる方にとっては、病院検索よりメインコンテンツの情報が重要にあるため、メインコンテンツがトップページの上部にあったほうがよいというご意見がございました。

そのほか、患者・家族向け、医療者向けなど、対象者ごとに情報が分かりやすく統一し、アクセスしやすくしてほしい、センシティブな内容を含まないように留意してほしいなどのご意見がございました。

続いて、「②デザインに関すること」です。

初めに、全体を通じて多くの方からご意見をいただいた項目としまして、文字を大きくしてほしいというご意見がございました。また、色やイラストに関しましても、誰にでも受け入れられるような色合いやイラスト、全体的に温かみを感じられるような色合いやイラストを取り入れてほしいというご意見も多く寄せられておりました。このほか、使用する写真やイラスト等は、誤解を与えるような内容は避け、できるだけ忠実に掲載

情報を踏まえた内容にしてほしいというご意見がございました。

続いて、スライド5ページにお進みください。

「2. サイトマップ・項目に関すること」になります。

初めに、サイトマップ共通に関するご意見としまして、メニュータブ等の項目名を分かりやすくしてほしいというご意見が多く寄せられておりました。また、パソコン版とスマートフォン版で項目名称が異なっている箇所が見受けられるので、そろえてほしいというご意見もございました。

続いて、個別項目に関するご意見としまして、「がんと向き合う」という表現について、“向き合う”の意味が分かりにくく、中には“向き合いたくない”という人もいることから、項目名を変更したほうがよいというご意見がございました。こちらは、今回のユーザーテストの中で最も多かったご意見になっております。

そのほか、メニュー項目に追加してほしいというご意見を様々いただいております、特に「小児がん・AYA世代のがん」、「緩和ケア」に関するご意見が多く寄せられておりました。

それでは、スライドの6ページ目にお進みください。

続きまして、「3. 病院検索」に関する内容です。

初めに、「①病院検索・検索結果画面」について、病院検索画面上部に表示されている「東京都のがん診療病院を探す」というタイトルについて、「がん診療病院」の対象範囲が分かりにくいいため、別のタイトルにしたほうがよいというご意見が多く寄せられておりました。

また、これに関連して「地域がん診療連携拠点病院」等、分かりにくい用語について、用語集などで分かりやすくしてほしいなどのご意見もございました。

また、選択項目を正確に設定してほしいというご意見もいただいております、例としまして、「手術」と「ロボット支援手術」を並列表記せず、「手術」の中に「ロボット支援手術」を内包してほしいなどのご意見がございました。

このほか、追加の検索機能としまして、「緩和ケア病棟を有する医療機関」等の選択項目を追加してほしい、地図検索を追加してほしいなどのご意見がございました。

続いて、「②病院詳細画面」です。

病院詳細画面については、検索方法や項目の追加に関するご意見を様々いただいておりますが、特に治療件数等の診療実績や役割分担の状況について追加してほしいというご意見が多くございました。

それでは、スライド7ページ目にお進みください。

続いて、「4. 追加機能に関すること」ですが、前回の部会でのご意見に加え、その他の部会・ワーキンググループでのご意見を記載させていただいております。本部会のご説明は割愛させていただきますが、後ほどご確認ください。

続きまして、「5. 掲載内容に関すること」です。

初めに、「①共通事項」について、前提として、東京都がん対策推進計画（第三次改定）で示された、東京都がんポータルサイトに周知することとしている取組について、全て実装してほしいというご意見がございました。

また、掲載コンテンツの整理について、引き続き掲載するコンテンツについても誤りがないかチェックしてほしい、追加予定のコンテンツについて、専門家に監修をお願いしてほしい、信頼できる外部のWEBサイトも上手に活用し、利用者にとって必要な情報を提供できるようにしてほしいなどのご意見をいただいております。

さらに、特に多かったご意見としまして、PDFファイルで公開されている一覧、例えば、がん相談支援センター等について、該当ページから直接閲覧できるようにするなど、分かりやすく掲載してほしいというご意見が本部会や他の部会・ワーキンググループでも伺っております。

なお、「②がん医療全般」からスライド8ページ目にかけては、テーマごとの掲載内容に関するご意見となっております。これらの内容につきましては、各部会・ワーキンググループで掲載内容の整理を進めております。本部会のご説明は割愛させていただきますが、後ほどご確認ください。

それでは、スライド9ページ目にお進みください。

ここまでご説明させていただきましたご意見を踏まえまして、リニューアルの進め方の再整理をさせていただきました。

まず、1点目は、「都民目線」で見やすく・分かりやすく・たどりつきやすいサイト設計を行っていきたいと考えています。

主な改善すべき点としている内容は、多くの皆様よりいただいているご意見となりますので、メインユーザーである都民目線に立って、使いやすいサイト設計を最優先で行っていきたいと考えております。

続いて2点目は、掲載内容の整理に当たっては、見やすさ・管理のしやすさにも配慮していきたいと考えております。先ほどの説明の中で申し上げました東京都がん対策推進計画において、東京都がんポータルサイトで周知することとしている取組の推進や掲載内容の充実化についても重要である一方、掲載情報が増えれば増えるほど見づらさを招いたり、持続的な管理が難しくなるという弊害や、掲載内容によっては、他サイトの活用や必要なデータを収集する必要が生じたりと、作成までに時間を要する場合がございます。

またサイト設計は、公開後の大幅な修正は難しい一方、掲載内容は公開後も随時、追加・修正等が可能という点も留意が必要になっております。そのため、見やすさ・管理のしやすさを損なわないように情報の粒度に留意しつつ、また他サイトの活用も含め、掲載内容を整理する必要があると考えております。

また、掲載内容の検討が必要な場合や情報収集に時間が要するものにつきましては、令和7年度以降も引き続き、掲載内容の整理を行っていきたいと考えております。

最後に3点目は、センシティブな表現や個人の特定につながる可能性のある情報の取扱いに注意していきたいと考えております。

前回の部会の中でも、利用者によって傷つく可能性があるような表現や掲載情報は使用しないように配慮してほしいというお声がありましたが、ほかにも、病院ごとの診療実績を掲載する際、希少がんや小児がんなど症例数が少ないものにつきましては、症例数自体が個人の特定につながる可能性がありますので、その点、留意しなければなりません。

そのため、センシティブな表現や個人の特定につながる可能性がある情報は掲載しないよう、細心の注意を払っていきたくて考えております。

以上の1から3の内容を踏まえまして、リニューアルを実施し、第2回ユーザーテストにて改めて皆様にご確認いただくことを予定しております。

「東京都がんポータルサイト」リニューアルに関するご意見及び再整理についてのご説明は以上となります。

○高山部会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から「東京都がんポータルサイト」のリニューアルに関するご意見と、ご意見を踏まえた再整理方法についての説明がございました。ここまでの内容について、ご意見・ご質問がありましたら、Teamsの挙手ボタンで挙手をお願いできればと思います。

前は機能面に関する内容でしたが、今回は掲載コンテンツについてということで、ユーザーテストや他のワーキンググループに参加されている皆さんからご意見をいただいて、がんポータルサイトのさらなる充実を図っていければということになると思いますが、いかがでしょうか。

皆さんが考えている間に、私から質問をさせていただいてもよろしいでしょうか。

ホームページの運用でよくあることとして、掲載情報がどんどん増えてくる中で、情報が古くなってしまったり、場合によっては正しい情報ではなくなってしまうようなことも起こりえるかと思えます。ご意見の中で専門家による監修というのがあったかと思いますが、これまでどのようにポータルサイトの情報を管理されてきて、これからどのように管理していく方針なのかお伺いできればと思います。情報の質の担保にもつながる話ですので、もし、お話しただけのことがありましたらお願いします。

○事務局（貴島） 貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

これまでホームページの情報の更新につきましては、基本的には随時対応としており、情報の更新があるたびに都が更新をするという形を取っておりましたが、今後の情報更新の方法として、前回の部会の中でもご紹介させていただいたとおり、病院情報については病院ごとに編集権限を付与させていただく形になりますので、情報の更新があるたびに各病院で更新をしていく形を取っていきたくて思っております。

ただし、病院に任せきりになると情報更新が漏れてしまう可能性もありますので、年

1・2回程度、定時更新という形で東京都から更新依頼を行いたいと考えております。それ以外のコンテンツにつきましても今後検討していきますが、更新漏れが生じないよう内部点検の仕組みを構築していきたいと考えております。

- 高山部会長 ありがとうございます。今の段階では、この情報は定期的にチェックするだとか、コンテンツを公開する前に一度見直しをかけるだとか、事細かに決めていく必要はないかと思いますが、情報管理を行う上での方針を整理しておく、スムーズに情報更新できるのかなと思いました。ありがとうございます。

ほかには、いかがでしょうか。清水委員、お願いいたします。

- 清水委員 ありがとうございます。修正後の案がないので少しイメージがつかない部分もありますが、掲載情報について、例えば、国立国立がんセンターのがん情報サービスから提供している情報を改めて東京都として出すということのを避けていただきたいと思います。恐らく、都民として知りたいところとしては、東京都だからこそ出せる情報のかなと思うので、上手に整理していただきたいと思います。

また、情報管理の点で申し上げますと、例えば、小児・AYAであれば東京都や小児総でもワーキンググループがあるかと思いますが、ワーキンググループや部会が監修する形で1対1対応になっていたほうが、今後の情報管理がある程度楽になるのではと思いました。半分感想みたいになってしまいましたが以上です。

- 高山部会長 ありがとうございます。情報管理について、東京都さんだけで頑張るのはすごく大変だと思うので、部会やワーキンググループなどの専門家チームをうまく活用いただいて、この範囲はこのワーキンググループでチェックしていきましょう等と、一緒にやっていけるといいのかなと思いました。

ほかには、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、続きの説明を事務局からお願いしてもよろしいでしょうか。

- 事務局（貴島） 続きまして、「東京都がんポータルサイト」に係るがんとの共生分野の掲載コンテンツについてご説明いたします。

スライド10ページ目をお開きください。

なお、がんとの共生分野の所掌範囲につきましては、参考資料1にて記載しておりますので、後ほどご参照ください。また、がんとの共生分野のうち、別の会議体で既に検討を進めているコンテンツにつきましては、丸印で会議名を記載しております。

それでは、「1 相談支援・情報提供に関すること」に移ります。

初めに、今回の表の見方ですが、掲載コンテンツごとに継続・修正・新規・削除の形で、方向性欄に事務局案を提示しております。

なお、継続のコンテンツにつきましても、情報の時点更新等やレイアウトの調整などを必ず行う予定です。また、今後のページで削除コンテンツが出てきていますが。こちらは項目自体が重複している場合や、掲載情報が古い情報となっており、統廃合を行うものになりますので、掲載する情報自体は維持するような見直しを行っていきます。

ここから先の説明は、赤字で記載されている修正・追加・削除の項目を中心にご説明させていただきます。

それでは、（１）相談支援に関する掲載コンテンツについて見ていきます。

まず、患者団体・患者支援団体のページです。現在のページは、視認性の悪さなどに課題がございまして、団体一覧の掲載情報が少なく見づらいなどの声が上がっております。そこで、所在地や団体概要などの一般情報の充実化や、がん種ごとのソート機能の付与など、レイアウトの修正も行い、見やすくしていきたいというふうに思っております。

続いて、ピアサポートのページです。現在のページでは、研修会やピアサポート５か条などの個別のページがございしますが、ピアサポートに関する概要ページがないため、入り口としてピアサポートについて分かりやすく説明するページを設け、個別のページにスムーズにアクセスできるようにしていきたいというふうに思っております。

続いて、スライド１１ページ目にお進みください。

（２）情報提供に関する掲載コンテンツを見ていきます。

初めに、都が主催する東京都がん対策推進協議会のページです。現在のページでは会議録のみ掲載しておりますが、協議会の概要や他の協議会との役割分担について説明するとともに、会議録を協議会・部会・ワーキンググループ別に整列するなど、分かりやすく情報提供を行ってまいります。

続いて、東京都立駒込病院が事務局をしている東京都がん診療連携協議会のページです。前回の部会でもご説明させていただきましたとおり、組織図しかなく情報に乏しいため、親会や各部会において実施している研修などの取組の紹介や、検討内容をまとめた議事要旨などの情報を追加し、分かりやすく情報提供を行ってまいります。

続いて、小児・AYA世代がんワーキンググループでも検討しております「東京都の小児がん対策」及び東京都立小児総合医療センターが都から委託を受け実施している「東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会」のページです。

東京都の小児がん対策のページでは、現在掲載されている小児がんに関する情報に加え、AYA世代がんに関する情報を整理して掲載し、分かりやすく情報提供してまいります。また小児・AYA世代がん診療連携協議会については、成人の協議会と同様、親会や部会において実施している研修などの取組の紹介や、検討内容をまとめた議事要旨などの情報を追加し、分かりやすく情報提供を行ってまいります。

続いて、「科学的根拠に乏しい情報への注意喚起」のページです。こちらは新規のページとなっており、SNSに拡散されている情報や、がん患者を狙ったビジネスなど、科学的根拠に乏しい情報への注意喚起や「医療機関ネットパトロール」などの紹介等を行ってまいります。

続いて、スライド１２ページ目にお進みください。

「２ 社会的な問題への対応に関すること」です。

(1)治療と仕事の両立に関することにつきましては、就労支援ワーキンググループについて検討を行っており、12ページに掲載の項目につきましては、継続の方向性で進めております。

続いて、スライド13ページ目にお進みください。

13ページでは、新たに追加するコンテンツとして、三つのページを設ける予定です。一つ目は、がん患者・がん経験者の就職活動を支援する資材等を紹介するページです。国立がん研究センター等が作成している広報資材やイベント情報等を紹介し、治療と仕事の両立に悩んでいる方へのヒントにしてもらうことを目的としております。

二つ目は、治療と仕事の両立を支援する社会資源を紹介するページです。こちらは産業保健総合支援センターの「企業への両立支援サービス」やハローワークの「長期療養者就職支援事業」などを紹介し、対象者に応じて必要な社会支援につなげられるよう、情報提供をしていきます。

三つ目は、患者・家族と職場のコミュニケーションを促進・支援するための資材の提供です。企業として、治療と仕事の両立に向けた取組を進めたい一方、患者のほうに具体的な状況が聞きづらいという状況があることから、患者サイドから職場サイドへ必要な情報提供が行われるよう、患者向けの啓発資材を今後作成していきたいというふうに考えております。

続いて、14ページ目にお進みください。

ここからは、(2)就労支援の社会的問題への対応に関するコンテンツになります。

初めに「アピアランスケア」に関するページです。現在のアピアランスケアに関する掲載コンテンツは、区市町村で実施しているアピアランスケア用品等の助成事業が中心となっておりますが、医療機関で行われているアピアランスケアへの支援の概要についても触れ、支援・助成・その他の情報に関することについて、分かりやすく情報提供を行っていききたいと考えております。

続いて、小児・AYA世代がんワーキングでも検討しております「若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業」に関するページです。若年がん患者等生殖機能温存治療費助成事業に関しましては、こちらのとおり、大きく三つのページに分かれておりますが、ページの構成の重複や古い情報に基づく動画になっていることから、ページを統合の上、修正を行っていききたいと考えております。その際、アピアランスケアと同様、医療機関で行われている妊孕性の温存の概要について触れ、支援・助成・その他詳細情報について、分かりやすく情報提供を行っていききたいと考えております。

続きまして、スライド15ページ目にお進みください。

最後に3番「ライフステージに関すること」になります。

初めに、(1)小児・AYA世代がんに関するコンテンツです。こちらは、小児・AYA世代がんワーキンググループでも検討しており、新たに追加するコンテンツとして、「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業」「教育機会保障に関する支援」「子育て中の

患者・家族への支援」の三つのページを設ける予定です。それぞれ東京都や区市町村等で実施している支援制度を含め、分かりやすく紹介していきたいと考えております。

なお、一覧表には記載しておりませんが、この他の新規コンテンツとして「家族支援・きょうだい支援」についても取り上げるかどうかというご意見をいただいております、引き続き、小児・AYA世代がんワーキンググループで検討していきたいと考えております。

続いて、(2)壮年期・高齢者に関するコンテンツです。

本テーマからは「介護中の患者・家族が利用可能な支援策」に関するページを新たに追加したいと考えております。本ページでは、介護保険サービスやその他の利用可能な支援や社会資源などを分かりやすく紹介していきたいと考えております。

以上で、「東京都がんポータルサイト」に係るがんとの共生分野の掲載コンテンツのご説明となります。

- 高山部会長 ありがとうございます。ただいま事務局から「東京都がんポータルサイト」に係るがんとの共生分野の掲載コンテンツについての説明がありました。

ここまでの内容についてご意見・ご質問がありましたら、挙手ボタンを用いて手を挙げて、ご意見をいただければと思います。

鈴木委員、お願いいたします。

- 鈴木委員 ありがとうございます。前半のリニューアルについてのご意見については、本当に網羅的に出ているなという印象でした。私も先日のユーザーテストでテストページを拝見して、意見について回答させていただいたところですので、これ以上何も言うことはないのですが、これらの内容がきちんと反映していただけたら素晴らしいなと思っておりますので、ぜひ反映いただいて、いいものをつくっていただけたらと思います。

それから、がんとの共生分野に関するコンテンツについては、改善すべき点については改善していただくのはもちろん、今回新規で作成するページが、どれもとても大事ななというふうに感じています。

特に、11ページ目の「科学的根拠に乏しい情報への注意喚起」のページや、13ページの仕事と治療の両立については、サイトを訪れた人が自ら探さなくても目につきやすいように、アクセスしやすくしてもらいたいと感じています。また、ピアランスケアや妊孕性温存助成事業についての修正についても期待しています。

このあと先約があり、途中退出しなければならない関係で、後半の議題に関する意見もお伝えさせていただければと思います。

まず、東京都がんポータルサイトの普及啓発についてですが、普及啓発用のチラシ・カードの作成・配布とありますが、こちらもぜひ修正可能な範囲で、事前に確認させていただけたらありがたいと思っています。

続いて、がんピアサポーター養成研修についてですが、いよいよ今月から研修が始まるということで、まずは研修を実施していくことが中心になるかと思いますが、ぜひ具

体的な研修内容を開示していただいて、精査・改善していけるようにしていただけるとよいと思います。

また、ピアサポーターというのは、基本的にはボランティアの活動を想定しているということでしたが、がんになって収入が減ってしまう人も多いと思うので、少しでもお仕事としてできるようになってほしいと願っています。

途中退出の関係で、事前に意見をまとめて言わせていただきました。ありがとうございます。

○高山部会長 ありがとうございます。ピアサポーターの件については、この後の議事の際に意見交換させていただきたいと思います。ありがとうございます。

また、リニューアルについてのご意見についてですが、これらの内容を反映できればとても良いものができるのではということ、ここに書かれている内容がどんな風に反映されるのか、私も楽しみにしているところです。

ほかの皆様からご質問、ご意見はありますか。

それでは、伊藤委員からチャットが来ておりますので、読ませていただきます。患者団体の情報としては、がん種だけではなく相談窓口や定期的なサロンの有無などを掲載することは可能でしょうか。患者団体のアクセスの目的の多くが、同じ病気、同じような悩みを抱えている方とお話したいという希望が多いかなと思います。とコメントをいただいております。

この点について、事務局から何かお話しできることがあればお願いいたします。

○事務局（貴島） 事務局でございます。

患者団体の情報掲載ですが、患者団体の個別ページの中で詳細な情報が掲載できますので、まずは、個別ページをできるだけきちんと載せていくことが、重要なポイントになるかなと思っております。

それを踏まえまして、相談窓口や定期的なサロンの有無といった実際の活動状況的な情報を詳しく知りたいという方も多くいらっしゃるかと思いますので、そのような内容に特化したページを新たに作成する必要があるかななどについては、ニーズなどを踏まえながら検討していきたいと考えております。以上でございます。

○高山部会長 ありがとうございます。

ほかはいかがですか。はい、それでは清水委員、お願いいたします。

○清水委員 先ほどの患者団体の情報についてですが、情報を掲載する患者団体に関して東京都として、レギュレーションのような、情報の質を担保するルールみたいなものは設定される予定はありますか。

また、この後のピアサポート研修にもつながる話になるかもしれませんが、ピアサポート研修を受ける際に何か条件があるとか、そのような計画はございますでしょうか。

○高山部会長 患者団体の掲載基準のようなことでしょうか。

○清水委員 はい。

○事務局（貴島） ご意見をいただきましてありがとうございます。

先ほどご説明いただきました患者団体の掲載基準ですが、東京都がんポータルサイトに掲載基準をアップしております。今、投映させていただきますので、少々お待ちいただいてもよろしいでしょうか。

○清水委員 ありがとうございます。

○事務局（貴島） 今、画面に「東京都がんポータルサイト掲載要領」というものをお示ししておりますが、こちらの第3条で「がん患者団体・がん患者支援団体情報の掲載要件」という形で、記載されている要件をすべて満たしていることを確認させていただいたうえで、ホームページに掲載させていただいております。

特に、（4）以降の内容は、先ほどの科学的根拠に基づく内容にも関わってきますが、これらに該当する場合は掲載団体として明らかにそぐわない要件になってくるかと思えますので、要領に基づいて精査を行うようにしております。

また、ピアサポート研修に関しましても、ホームページ上で、一定の申込み条件というのを設けておまして、条件をすべて満たしている方のみ本研修を受けていただく仕組みとしております。

○清水委員 ありがとうございます。特に、やはり4、5、6番ですかね。怪しいビジネスなどに巻き込まれてしまうのが一番心配なところですので、注意深くチェックをお願いできればと思います。ありがとうございます。

○事務局（貴島） ありがとうございます。

○高山部会長 ありがとうございます。

今の話題に関連して、一つ追加で質問させていただいてもよろしいでしょうか。先ほどの定期的な更新確認に関わることですが、患者団体に限った話ではありませんが、小さい団体ほど財源や法人格が変わると、団体ががらっと変わることもあり得るかと思ひまして、やはり定期的なチェックというのがどこかであったほうがいいのかと思います。もちろん負担のない範囲でということにはなるんですが、その辺りも今後、ご検討いただければと思いました。

これについて、東京都の方で何かお話しできることはございますか。

○事務局（貴島） ありがとうございます。今回のがん患者団体もそうですし、ほかの掲載コンテンツも含めてになりますが、情報が更新されないまま残ってしまうことによって、却って誤った情報を提供してしまうという可能性もありますので、そういうことが生じないように、情報の正しさを担保できるような管理方法を検討していきたいと考えております。

○高山部会長 ありがとうございます。伊藤委員からチャットが来ておりますので読ませさせていただきます。「年1回の書面での確認が行われている」とのことです。なるほど、毎年行われているということなんですね。

○事務局（中村） 東京都の中村です。よろしいでしょうか。

○高山部会長 はい、お願いいたします。

○事務局（中村） 伊藤委員からもお話がありました。東京都では、毎年6月現在で、各団体から更新情報を書面でいただいている形になります。

ただ、今のお話では、団体の代表者だったり法人格だったり、団体の性質が変更する場合の確認方法ということかと思いますが、毎年の定期調査ではそこまで踏み込んだ内容を聞くことを想定していないため、実際の確認状況を踏まえながら、そのような内容も聞いた方が良くも含め、検討していきたいと思います。ありがとうございます。

○高山部会長 ありがとうございます。なかなか難しい話ではありますが、怪しい事業者や団体ほど情報の見せ方が巧みなもので、その点どう精査するかというのを、知恵を集めてやっていくしかないと思います。ありがとうございます。

もう一点質問してもよろしいでしょうか。先ほど掲載コンテンツのお話がありましたが、どのような言葉を使うかによって、専門的な印象を受けたり一般の方にもなじみのある印象になったり、印象が変わってくるように感じます。

もしかしたら前回、どのような見せ方をする予定なのかお話があったかもしれませんが、一般の方が見るページと医療者が見るページの構成やイメージについて、どのように予定しているのか、実際の作業はこれからになるかと思いますが、何かイメージだけでも教えていただければお願いいたします。

○事務局（貴島） ご質問いただきありがとうございます。今までお示しした構成ですと医療者目線にやや寄ってしまっている印象を受けており、今回のユーザーテスト等でいただいたご意見でも、都民目線で分かりやすくつくってほしいというご意見が多く挙がっております。そのため、患者さん・ご家族向けの情報をメインに据え、分かりやすさを重視した構成にしていきたいと考えております。

一方で、医療者側、例えば相談員の方が患者さんに情報提供を行ったりするなど医療者が活用することも想定されますので、医療従事者向けのページでは、患者・家族向け情報を補足できるような構成としていきたいと考えております。

○高山部会長 ありがとうございます。そうしますと、医療者が役立つ情報として、現場のノウハウだったり、知恵だったりいろいろあるかと思いますが、今後も改修していくことだったので、ぜひそういった情報を、医療者向けのページの中で反映できるといいなと思いました。ありがとうございます。

それでは、オブザーバーの田村広報担当課長、お願いいたします。

○田村オブザーバー 皆様から様々な意見をいただきありがとうございました。ご意見を伺っておりますと、こういった情報を掲載してほしい等のご意見が多いので、ポータルサイトの情報が増える方向に働いてしまう印象を受けておりますが、そうするとかえって見づらいものになってしまうため、情報をそぎ落とすことも必要であると思っております。

私たち行政職員がポータルサイトを作成したり、リニューアルをする中で、実は一番

不要となるのが、都のがん対策といった行政のページになります。行政職員としては信じ難いかもしれませんが、見る側としてはそこまで興味がある情報ではないので、東京都のがん対策を東京都保健医療局のCMSに残し、そのリンクを貼るだけで、十分機能を果たせるように思います。その意味では、11ページのコンテンツについては、もう少し整理できるとよいかと思います。

また、12ページの治療と仕事の両立に関するページですが、項目が羅列されているので、何が掲載されているのか感覚的に分かりにくく感じたのと、終了した事業については、そもそも載せない等、整理された方が良いように感じました。また、東京都社会保険労務士会の取組については支援者側の情報なので、全体を支援者側の情報・企業側の情報といったように整理したほうが、全体としてまとまりのある構成になるかなと思っています。

最後に、15ページのライフステージですが、小児・AYA世代のページに関してはその方々への支援の内容となっておりますが、壮年期・高齢者のページは、その方々への支援というよりは、周りの支援者についての制度なので、ライフステージのページとして全体を俯瞰して見た際に、壮年期・高齢者向けの支援のページとして見えづらいので、もう少し構成や内容を整理された方が、全体のバランスがよくなるのではないかと思います。以上です。

○高山部会長 ありがとうございます。情報を整理する、削るというのもまた難しいですが大事な視点だと思いますので、この辺りも考えていく必要はあるかと思います。事務局のほうで、何かお考えなどはありますでしょうか。

○事務局（貴島） 事務局でございます。たくさんのご意見をいただきましてありがとうございます。いただいたご意見につきましては、持ち帰って検討させていただきたいと思っておりますが、都民目線で見やすくしていくことが一番ですので、例えば閲覧数が少ないコンテンツを引き続き残すのが果たしてよいかを考えると、やはり整理が必要かと考えますので、掲載情報の取捨選択について、引き続き検討していきたいと思っております。

○高山部会長 ありがとうございます。それでは、小澤委員、お願いいたします。

○小澤委員 日の出町いきいき健康課長の小澤と申します。

オブザーバーの方からの専門的なご意見の後で大変恐縮ですが、1点ご質問をさせていただければと思います。

15ページ（2）の壮年期・高齢者にあります新規のコンテンツについて、「40歳以上の方が対象となる介護保険サービスなど」とありますが、掲載情報については、ここにありませうとおり、介護保険制度のパンフレットや福祉局のリンク等になるのでしょうか。といいますのも、40歳以上の壮年期における2号被保険者の介護保険サービスに該当する場合、がんに関しては、がん末期の方になってくるかと思われま。そうしますと、前回、私から発言させていただきましたセンシティブな部分もあるかと思いま

すので、制度に関するパンフレットのリンクを掲載するというのであればよろしいかと思うんですけども、それ以上の内容を展開していく場合、難しい部分も生じるかなという印象を受けたので、その辺りの情報提供方法について、お聞かせいただければと思います。以上でございます。

○高山部会長 ありがとうございます。事務局のほうで、もし、構想がもう固まったものがあれば、ぜひお願いいたします。

○事務局（貴島） ご意見をいただきましてありがとうございます。掲載コンテンツの詳細つきましては引き続き検討中の部分がございますが、今回お示ししましたパンフレットのリンクについては、掲載予定の情報となりますので、基本的には、今回表の中でお示しさせていただいている情報を掲載する形で検討しております。また、おっしゃるとおり、センシティブな内容を含まないように配慮していかなければならないと考えておりますので、そのような情報や表現にならないよう、きちんと確認を取りながら整理して参りたいと思っております。

○高山部会長 ありがとうございます。難しいですね。そのような情報の中には、人によってはとても重要な情報だったりもしますので、それをどう届けるかという点についてポータルサイトだけでなく現場の支援者と一緒にやっていくしかないかなと感じました。

○小澤委員 ありがとうございます。

○高山部会長 ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。それでは、伊藤委員よりチャットが来ておりますので、読み上げさせていただきます。

まず、先ほどお示しいただいた審査についてはしっかりとやっていただきたいと思います。また、初診の患者さんからすると、何を調べたらよいか分からない状態の方も多いためと思いますので、困りごと等が生じる場面やタイミングと掲載コンテンツが結びつくようなデザインや構成ですと助かります、とのご意見をいただいております。

○事務局（貴島） ご意見をいただきましてありがとうございます。前回の部会の中でもデザインに関する内容で、センシティブな表現は避けてほしいであったり、こういうデザインや写真にしてほしい等のご意見をいただいておりますが、やはりデザインと掲載内容がリンクするような構成の方が、利用者が理解しやすいかと思っておりますので、両者のバランスを見ながら、デザインや掲載内容が分かりやすく伝わるような構成にしていきたいと思っております。ありがとうございます。

○高山部会長 ありがとうございます。

他はいかがでしょうか。それでは、清水委員お願いいたします。

○清水委員 ありがとうございます。繰り返しお話しさせていただいている内容になるかと思いますが、事業ありきという掲載の仕方ではなくて、例えば、ご自宅での療養がお一人だけでは難しくなってきた方の中で、若い方はどうなのか、ご高齢で介護保険が利用できる方はどうなのか、あるいは、壮年期でがん末期という状況の方ならどうなのか、といったように、患者さん目線で自分がどういう支援に繋がればよいのかが分かるような形

にするというのかなと思いました。自分に関係ある情報なのか、そうでない情報なのかというのが、一通り見ないと分からないような構成ではなくて、まず患者さんの状況があって、そこから枝分かれしていくような形の構成になっているといいかなと思いました。

○高山部会長 ありがとうございます。

続いて、橋本委員よりお手が挙がっているようです。それでは、お願いいたします。

○橋本委員 ありがとうございます。先ほど、清水委員がおっしゃったことと同じことを、私もお伝えしたいなと思ひまして、制度があつたり窓口があつても、それが自分に合うのか合わないのかが分からないでいる人たちが、たくさんいらっしゃると思ひますので、例えば、病気のこととか、介護のこととか、困り事に応じた相談入口みたいなものがある、これも知っておきたいみたいに関連情報にアクセスできるような構成だったらいいなと思ひまして、手を挙げさせていただきました。以上です。

○高山部会長 貴重なご意見をありがとうございます。

里見委員からもお手が挙がっているようです。それでは、お願いいたします。

○里見委員 国立がんセンターの里見です。

清水委員と橋本委員と同じようなことを思ったということと、もう一つは、既にあるページのリンクを掲載するとのことで、先ほどご説明いただいた介護保険制度のページのリンク先を見ていたのですが、制度目線的な印象でして、患者さんがどこのページを見ればよいのか正直なところ分かりにくいと思ひましたので、患者さんのニーズに応じて見られるように、分かりやすくしていただけるとありがたいなと思ひます。よろしくお願ひします。

○高山部会長 ありがとうございます。コンテンツをつくっていた立場から申し上げますと、結構ハードルが高いなと思ひながら聞いておりました。すごく大事なことなのですが、これをつくり込むとなるとなかなか大変な作業になると感じたところです。みんなで頑張ろうって感じでしょうか。少しずつ充実させていけるといいなと感じました。

事務局から何かございますか。

○事務局（貴島） 皆様からの貴重なご意見ありがとうございます。先ほどの介護のページについてですが、確かにパンフレット内容が非常に盛りだくさんで、この中から患者さんが自分のニーズに合った支援を探すことはすごく大変だなということは、我々としても承知しておりますので、例えば、その情報を切り取って整理した形で情報提供する等、掲載方法について、今後検討していきたいと考えております。

また、皆様にもお知恵を拝借することもあるかもしれませんが、その際はぜひご協力いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願ひします。

○高山部会長 ありがとうございます。それでは、続きのご説明をお願ひできればと思ひます。では、事務局よりご説明をお願ひいたします。

○事務局（貴島） それでは、資料3の16ページにお進みください。

ポータルサイトの最後の検討項目になります「東京都がんポータルサイト」リニューアルに関する広報について、ご説明いたします。

「東京都がんポータルサイト」リニューアルに関する内容としまして、大きく三つありまして、初めに普及啓発動画の制作についてご説明いたします。

診断直後の早期退職を防止した動画で、就労支援ワーキンググループでも取り上げさせていただいたものになります。動画の最後で「東京都がんポータルサイト」を紹介し、認知度向上を図りたいと考えております。

配信方法はY o u T u b e、インストリーム広告による配信を予定しており、60秒と15秒の2本の動画を併用する形を予定しております。

ここで、現時点での案となりますが、皆様にも動画をご視聴いただきたいと思いますと考えております。準備いたしますので、少々お待ちください。

(動画視聴)

○事務局（貴島） 続いて、60秒のほうを回しますので、少々お待ちください。

(動画視聴)

○事務局（貴島） ご視聴いただきまして、ありがとうございます。作成しました各動画は、ホームページやサイネージ等でも活用する予定となります。配信時期は、令和7年1月頃を予定しており、リニューアルに先行しての配信となりますが、リニューアルには新サイトへ直接アクセスできるよう、リンク先の切替えを予定しております。

続きまして、②普及啓発用チラシ・カードの作成・配布についてです。

リニューアルされた「東京都がんポータルサイトの存在」やサイトを通じて知ることができる掲載内容やQRコード等のアクセス情報を分かりやすく提供することを目的としたチラシと、持ち運び可能なカードを作成したいと考えております。

イメージとしましては、前回部会で鈴木委員によりご紹介いただきました、神奈川県を防がんマップのように、知りたい情報とQRコードがリンクする形式で掲載したいと考えております。

配布対象は、がん診療拠点病院等を含む都内の病院及び区市町村とし、「東京都がんポータルサイト」の新サイト開設時期に合わせて、令和7年2月末頃に配布を予定しております。

最後に、東京都のホームページやSNSを通じた情報発信です。

リニューアルされた「東京都がんポータルサイト」の存在について、広く都民に周知を行うために、東京都のホームページやSNSを通じた情報発信を行いたいと考えております。広告媒体は、東京都ホームページ、東京都保健医療局ホームページ、東京都X、東京都LINEなどを予定しております。

こちら「東京都がんポータルサイト」の新サイトを開設以降、随時配信していく予定です。

「東京都がんポータルサイト」リニューアルに関する広報のご説明は以上となります。

○高山部会長 ありがとうございます。

ただいま、がんポータルサイトリニューアルに関わる広報について説明がございました。ここまでの内容や「東京都がんポータルサイト」のリニューアル全体について、ご意見・ご質問がございましたら、挙手ボタンでお知らせください。いかがでしょうか。

それでは、橋本委員、お願いいたします。

○橋本委員 ありがとうございます。すごく分かりやすい、インパクトのある内容だなと思って、まず感想として見させていただきました。それで、普及啓発用のチラシのところですが、恐らくがん拠点病院を含む都内の病院、そして市区町村というのは行政の窓口ということでのよろしいかどうかの確認と、例えば医師会とかクリニックみたいなところも、これらに入るという理解でよろしかったでしょうか。健診センターとか多分あると思うので、その確認でした。もし分かれば教えてください。

○高山部会長 事務局、いかがでしょうか。

○事務局（貴島） 貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。まず、先ほどの都内の医療機関・市区町村につきましてはおっしゃるとおりでして、市区町村については自治体の窓口を想定しているところになります。

続いて、病院の範囲ですが、当初の素案としては、いわゆる病院を対象と考えておりましたが、今回のポータルサイトのリニューアルもそうですし、今後の普及啓発をするに当たって、やはり診療所も含めて検討をした方がよいというご意見もありましたので、病院の対象範囲について、今回皆様からご意見伺えればと考えているところです。

○橋本委員 ありがとうございます。

○高山部会長 ありがとうございます。今、鳥居委員よりお手が挙がりましたので、お願いいたします。

○鳥居委員 東京都医師会の鳥居でございますけども、よろしいでしょうか。

○高山部会長 お願いいたします。

○鳥居委員 今の件について、非常に大切だと思ひまして、先ほど、がんと確定診断がつく前からの動画も流れておりましたが、やはり、最初にかかるのは診療所でありまして、その次は病院でありまして、さらに拠点病院となると思ひますので、医師会の場合には、理事会の許可等も必要ですけども、ぜひ、今回のホームページの件について、アクセスしやすいようにできればと思ひておりますので、その際にはまたご協力できればと思ひますので、よろしくお願いいたします。

○事務局（貴島） ありがとうございます。我々としましても、ぜひ東京都医師会さんと協力しながら、診療所への周知についても広げていきたいなと思ひているところでございます。またご相談させていただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○鳥居委員 恐らく事務局・広報との調整になると思ひますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

○高山部会長 とても心強いご意見をいただきました。やはり検診をする診療所が、先ほ

どの動画のようにがんについて考えるきっかけになるのかなと感じました。

ほかはいかがでしょうか。せっかく作っても見てもらえないと意味がないので、どのように見せていくのが、今後進めていく上でのポイントになってくると思います。

それでは、次の議事に進められたらと思います。

では、東京都がんピアサポーターの養成研修について説明をお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 では、事務局よりご説明をいたします。資料4のスライド2ページをご覧ください。

前回の部会では、こちらに掲載されてございます、東京都がんピアサポーター養成研修の事業目的及び事業内容につきまして、委員の皆様にご確認いただきました。今回は、実施状況及び研修修了者に関する情報提供の方法等について、ご説明させていただきます。

3ページ目にお進みください。

初めに、実施状況についてご説明いたします。研修の日程につきましては、第1回の研修が、今週末12月21日、22日の土日の2日間の開催となりました。会場は、東京都立駒込病院になります。

今後の予定につきましては、2月の初旬、また3月の初旬にそれぞれ1回ずつ開催する予定としてございます。

研修内容につきましては、前回ご紹介いたしました、日本サイコオンコロジー学会の発行の「ピア・サポーター養成テキスト」に準拠した内容を予定しており、ピアサポートに関する基礎知識などの講義やグループワーク、ロールプレイなどを実施いたします。

なお、スケジュールにつきましては、記載のとおりとなっております。現在は基礎的なプログラムの研修実施を優先して進めてございますけれども、年明け以降より来年度から実施予定のAYA世代支援プログラム内容の検討も進めてまいります。

4ページ目にお進みください。ここからは前回の部会にて、今回検討する旨をお伝えしました事項となります。

初めに、研修修了者に関する情報提供の方法についてでございます。研修終了後、研修修了者の了解の下、東京都が修了者名簿に登録いたします。その後、東京都がんポータルサイト内に設ける医療機関の専用ページ内で研修修了者の名簿を共有することを予定してございます。医療機関の専用ページでは、パスワードによる認証を行いまして、がん診療連携拠点病院だけがログインできる仕様といたします。

なお、前回の部会では、ピアサポーターと病院とのマッチングについてご提案がございました。この点につきましては、整備指針に基づく対応を推し進めていくため、今年度は、まずピアサポーターの養成を中心に実施して参りますが、今後、医療機関のニーズ調査や研修実施後のピアサポーターの活用状況などを踏まえながら、マッチング等も視野に入れまして、ピアサポーター活用体制を検討していきたいと考えてございます。

続きまして、研修修了者の取扱いについてご説明いたします。研修修了後は、所定の

研修課程を修了した証明としまして、修了者に対して修了証の発行を予定しております。

修了証に関しましては、今後、実施予定のフォローアップ研修による自身の活動の振り返りや、定期的な知識の更新を促すため、修了証の認定期間を3年間としたいと考えてございます。なお、フォローアップの研修は、研修終了から3年目を目安に実施する予定で考えてございます。

ピアサポーター養成研修に関する説明は以上となります。

○高山部会長 ありがとうございます。今、事務局から東京都がんピアサポーター養成研修について説明がありました。

ここまでの内容について、ご質問・ご意見がございましたら、Teamsの挙手ボタンでお知らせいただければと思います。よろしく申し上げます。

内田委員、お願いいたします。

○内田委員 ありがとうございます。実際にピアサポーターの認定された人が、どういう活動をするのが想定をされているのか、教えてもらえますでしょうか。実際どんな感じでお仕事といいますか、活動をされているのでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 今回はピアサポーターの養成となりますが、養成された後に関しましては、各病院のがん相談支援センターや患者サロンでピアサポーター活動をしていただくのが基本の形になるかなと考えてございます。

○内田委員 なるほど。先ほど、病院とのマッチングとおっしゃっておいりましたので、病院としてどういう形で運用されるのかなと思って聞いておりましたが、どうでしょうか。

○田村医療連携・歯科担当課長 マッチングに関してですが、前回の部会でご提案いただいた内容にはなりますが、今年度はピアサポーターの養成を優先させていただきたいと考えております。

○事務局（貴島） 横から失礼いたします。東京都庁の貴島です。

貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。まず、本年度の研修につきましては、先ほどご説明させていただきましたとおり、研修事業を中心に実施していくことを予定しております。その後、拠点病院へ修了者名簿を共有させていただいて、そこから各拠点病院側の方から今回養成されたピアサポーターへ直接アクセスする形で、ピアサポーター活動を行う形を想定しているところです。

そのうえで、先ほどのマッチングの話ですが、前回の共生部会の中で清水委員よりご提案いただいた内容でして、病院とピアサポーターをつなげるようなシステムがあると活動しやすいのではというお話でした。この件に関しては今後拠点病院へ調査を行った後、実際の利用状況を踏まえまして検討させていただきたいと考えておりますが、できるだけ皆様のご意見を反映する形で、使いやすい制度にしていきたいと思っております。

○内田委員 ありがとうございます。あまり知識がなかったもので、日本サイコロジ学会の養成テキストを読めば分かることなんだろうとは思いますが、これは疾患別に分かれているのでしょうか。それとも、がんの経験者ということで一緒くたなので

しょうか。

○事務局（貴島） 研修自体は、がんの種類にかかわらず同じ研修になります。ただし、実際にはがんの種類によってそれぞれ様々な経験をされているかと思えますし、拠点病院等でのピアサポート活動の際も、こういった患者さんがいるので、それに近いピアサポーターが居てくれると悩みも聞きやすいですし寄り添っていただけるといった側面もありますので、我々としては、がんを経験された様々な方をピアサポーターとして養成していきたいと考えております。

○内田委員 ありがとうございます。

○高山部会長 ありがとうございます。

先ほど鈴木委員からも、具体的な研修内容の開示をということをお願いしたいということでしたが、これは、ホームページのリンクになるのでしょうか。

○事務局（貴島） はい、先ほど鈴木委員から二つご質問をいただいております、具体的な研修内容のお話と、お仕事としてピアサポーターの方を活用いただけないかというお話の2件をいただいております。

まず、1点目の研修内容につきましては、掲載方法の検討はさせていただきたいと考えておりますが、ホームページの中で共有できるといいのかなと考えているところでございます。

例えば、研修概要についてはホームページに掲載し、少し踏み込んだ内容が含まれる場合は先ほどご説明させていただきました医療機関専用ページの中でご紹介することもできるかと思えますので、そういった形でホームページを通じた情報提供をできればいいのかなと考えているところです。

また、もう一点ご質問がありました、ピアサポーターをお仕事として運用できないかという点ですが、こちらは前回の部会でも共有させていただいておりますが、補助金を活用して運用していただくことも可能になりますので、病院に対して補助金に関する情報提供をしていながら運用についてご検討していただくという形を想定しております。

○高山部会長 ありがとうございます。それでは、清水委員からお手が挙がっておりますのでお願いいたします。

○清水委員 ありがとうございます。前回の発言も拾っていただいて、検討いただいたということでありがとうございます。拠点病院の指定要件の中で、ピアサポーターと連携してがんサロンを運営することが書かれていて、その点に対して東京都で養成したピアサポーターというのが活用し得るものになるのかということなので、その点が上手く結びついたプログラムになるといいなと思って、発言させていただいた次第です。

単に名簿があっても、私たちはその人がどこにいる人なのか、どんなことが得意なのかということも分からないので、マッチングシステムに関しては色々検討していく必要があるように感じました。

また、先ほど鈴木委員からいただいたご意見はすごく大事で、やはりその方の時間と

エフォート（努力）を割いていただいているので、何らかの対価を支払って差し上げるということが、誠意のある対応なのかなと思っております。

また、国のがん拠点の補助金では、ピアサポーターを活用することに使っていいお金というふうにはなっていない（補足：国の補助金の中でもピアサポーターにかかる経費を計上することは可能だが、補助基準額との比較の結果、結果的に持ち出しになる可能性がある）ので、ぜひ、東京都の方で可能であれば、ピアサポーターの活用をしやすいような助成制度みたいなのをつくっていただけるといいなと思ったところになります。

それと一つ、フォローアップ研修についてですが、恐らくピアサポーターの方に聞いていただくと分かるとは思いますが、ピアサポーターとしての基本的な知識の次に必要だと思われるのは、やはり疾患に関する知識だと思います。がんの治療はすごい勢いで変わってきておりますので、その点をアップデートしていくということが、新しい患者さんに対応するために必要になってくるかと思えます。それを東京都のフォローアップ研修でやるのはなかなか大変ですので、例えば学会さんが提供しているペイシェント・アドボカシー・プログラムとか、患者さんやご家族の方向けに知識を増やすための活動もありますので、そういったものを受講した場合は、フォローアップ研修を実施したとみなしてあげるのも、一つの考え方としてあるんじゃないかなと思いました。

○高山部会長 ありがとうございます。貴重なご意見だったと思います。一つプログラムを立てると、負荷がどんどん増えていきますし、そういった取組の活用も一つの手だと思います。それでは、本田委員お願いいたします。

○本田委員 ありがとうございます、本田です。

小児のことになりますが、小児向けのピアサポーター研修について何かお考えがあるんでしょうかと思って質問をさせていただきました。というのは、小児は、療養、長期、教育などいろいろな問題がありますが、特に長期入院中の療養生活やご家族の問題が非常に大きいので、ピアサポーターの力があつた方が良かったのが一点目になります。

また、小児がん患者ネットワークでは、ピアサポーター研修をやっているのですが、東京都のお考えとして、AYA世代向けのピアサポーター研修を来年からやるというふうに見えたんですけど、その辺はいかがなんでしょうかと思って、質問をさせていただきました。

○事務局（貴島） 貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。小児向けの研修、恐らくは親御さんを対象とした研修になってくるかと思えますが、現在のところまだ検討が進んではいないという状況になりますが、AYA世代向けのピアサポーター研修については来年から実施する予定で考えております。先ほどのフォローアップ研修の件も含めて、この事業を進めていくに当たり、ニーズの部分であったり、また、どの世代においてもピアサポーターによる支援は必要になってくるかと思えますので、そういった点を踏まえながら、検討していきたいと考えております。

○本田委員 それから、一点コメントとなりますが、先ほどのピアサポーターの収入のお話になりますが、当院もピアサポートはありますけれども、難病のこども支援全国ネットワークで、小児慢性特定疾病児童等支援事業というのを実施していて、恐らく、都の方からお金を出しているかと思っております。難病のこども支援全国ネットワークに補助が出ていて、当院では部屋を用意して、毎日じゃないんですけど二人くらいピアサポーターの方がいらしています。このような事業もあるので、同じようなことは可能じゃないかと思って、コメントをさせていただきました。

○事務局（貴島） ありがとうございます。実際、都内の拠点病院の中でも、ピアサポーターを活用した相談支援事業を委託事業として実施しているケースもありまして、そういった活用の仕方もあるのかなと思っております。

また、この事業の中でも、研修修了後のつなぎの部分について、何か検討できればいいなと思っておりますので、その仕組みづくりについて、引き続き検討させていただきたいと思っております。

○高山部会長 ありがとうございます。

ほかにご意見・ご質問はございますでしょうか。それでは、橋本委員お願いいたします。

○橋本委員 今の仕組みづくり、ぜひ期待したいなと思って聞いておりました。実際、今回の研修の応募についてご連絡をいただいて、声をかけようと思っておりましたが、締切がタイトで十分にお声がけが出来なかったところもあって、申し訳ないと思っております。ピアをお願いしたいなと思っている人たち、いつもちょっとしたときにお手伝いで声をかけている方たちが何名かいらっしゃるのですが、そういう方たちって、病院に来る機会が本当に少なくなってしまっていて、年に1回来るかどうかといった方々も多かたりますので、期間を数年見ていただくと、こういう人たちが研修を受けてもらって、ピアサポーターとして活動してもらえるのではといった傾向が見えてくるような気がしました。

この研修は今後も続いていくかと思いますが、参加者の評価とか集まり具合を2年ぐらい見ていただくと、どういう人が適任であるだとか、拠点病院での活動につなげられやすくなると思いましたが、病院側もこの研修を薦めたいと思うことにもつながるので、仕組みづくりと併せて、少し時間をかけてこの研修をつくっていただくといいかなという現状のご報告でした。

○高山部会長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。

○橋本委員 すみません、橋本です。

○高山部会長 橋本委員、どうぞお願いいたします。

○橋本委員 続けてすみません。今回のご案内については、クリニックには情報提供は行っていないんですね。これは私たち病院側からクリニックにご案内をする等、そういった連携をしたほうがよろしいのでしょうか。

○事務局（貴島） 今回のピアサポーター研修につきましては、各拠点病院への周知のほか、東京都がんポータルサイトで周知させていただいておりますが、基本的にはそこからの情報提供を想定したところでございますが、近所のクリニックさんに通われている方等でご興味がある方についても、もちろんお声がけさせていただいて差し支えございませんですし、クリニックを含む地域の医療機関・関係団体等へ情報提供いただくことも差し支えないところです。

○高山部会長 ありがとうございます。それでは、鳥居委員お願いいたします。

○鳥居委員 東京都医師会の鳥居ですけども。

今の件ですが、やはり現場が非常に大切だと思いますので、各区に地区医師会というのがありますので、そこから各医療施設に広報することができると思います。

それからもう一つ、病院協会というのがありますので、そちらも関連するスタッフ等がおるかと思っておりますので、そちらにも広報することはできるのではと思います。何か協力できることがあればご協力いたしますので、よろしくお願いいたします。

○高山部会長 こちらも心強いご意見をありがとうございます。

研修事業がこれからまさに始まるということで、やりながらこんなことができるのではないかといったアイデアも出てくるかと思っておりますので、皆様と共有しながら、発展できるといいなと思いました。

最後に、本日の議題全体について、もし言い忘れてしまったことがあれば、ぜひご発言いただければと思っておりますがいかがでしょうか。

山田委員、いらっしゃいますでしょうか。お声が聞こえないでしょうか、すみません。

それでは、横山委員はいらっしゃいますか。

○横山委員 東京都看護協会の横山です。お世話になっております。

○高山部会長 はい、お願いいたします。

○横山委員 全体のことはよく理解できました。一般の方へのピアサポートの教育については、なかなかハードルが高いかと思いますが、もし東京都看護協会でもご協力できるようなことがあれば、ぜひ協力させていただきたいなと思っております。以上です。

○高山部会長 ありがとうございます。まさに、広報や理解促進といったところが、今後進めていけるといいなと思いました。ありがとうございます。

○高山部会長 ほかに言い残したということがございますでしょうか。よろしいでしょうか。第2回のユーザーテストもあるとのことですので、そこでまたご意見をいただければと思います。それでは、ほかにないようですので、事務局へお返ししたいと思います。お願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 本日は、本当に活発なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の議題について、さらにご意見等がございます場合は、来週の金曜日12月27日までにメールで事務局までご連絡いただければと思います。会議終了後にメールでも

併せてご連絡いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度のがんと共生部会につきましては、以上で終了となります。「東京都がんポータルサイト」のリニューアル及び「東京都がんピアサポーター養成研修事業」につきまして、これまでたくさんのご助言等を賜り、感謝申し上げます。また、後日ご案内いたしますが、来年の2月に東京都がんポータルサイトの第2回ユーザーテストを予定してございますので、ぜひご意見等を賜ればと思います。

事務局からは以上になります。

それでは、これにて第2回がんと共生部会を終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。

(午後 7時35分 閉会)